

平成 26 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	大阪大学災害ボランティアサークルすずらん
活動テーマ	被災地での民泊による観光受け入れ整備支援ツアーの実施



今回の活動の目的は、以下の三点です。①普段訪れない学生（外部の空間）と触れ合うことにより、村民に新たな気づき、新たな活力を与える。村民個人による新たな魅力創出のきっかけを生み出すこと。②1つの企画を野田村の異業種間で協働し、作り上げる過程において野田村全体の復興を村民が考え、議論することを促進する。③参加者自身に野田村のファンになってもらうこと。さらに、外部の人との接点から生まれた新たな活力により村民主体の魅力創出を図ること。

そして今回の企画では、まず関西から野田村への民泊ツアーを企画し、関西の大学生に、野田村内で様々な体験活動や被災地ガイドに参加してもらいました。企画に当たっては、野田村観光協会、野田村役場特定課題対策課、そしてNPO法人のだ暮らし体験村の方々と協力しながら、現地の方と話し合いを進め企画を煮詰めました。

最後に本活動の成果として、以下の3点で目的を達成しました。①野田村の外から来る学生を受け入れることで、受け入れ先に刺激を与えられるという点です。「若者」であり、また、大阪という文化も異なる外部から来た学生たちとの交流を経て、野田村の方に地域の魅力を再確認して貰えました。②最大の効果は今回の活動が、現地にNPO法人「のだ暮らし体験村」の立ち上げの大きな一助になった点です。すずらんはかねてより、被災地の方が自力で復興に携わることを団体の目標にしていたのですが、今回のNPO法人立ち上げによってすずらんが行ってきたツアー事業が、野田村民主体の団体に引き継がれたことは意義があると考えられます。③民泊という個人個人の繋がりを最大限に深めるやり方で、参加者に野田村のファンになってもらえた点です。今回の参加者にも複数人、野田村を訪れるのが複数回目の方がおられ、すずらんが関西と野田村をつなく架け橋になっていることが確認できました。